全体	47
個別	13-01

平成３０年度［教育委員会事務局］ 組織目標

課　名	教　育　総　務　課

No.	総合計画の区分	挑　戦	ひとづくり
		最優先課題	子どもを大切に育てる

	項　　目	島っこ留学制度による留学生の招致推進
	内　　容	「島っこ留学制度」は、豊かな学びと地域における体験活動等を願う島外の方を対象に、市内の小・中学校に入学または転学を希望される児童・生徒を受け入れ、対馬市の学校並びに地域の活性化と教育の振興・充実を図る事を目的として平成２７年１１月からスタートした制度です。 複式学級の解消にも有効で、今年は、西小校区、仁田小校区等を受入地域として体験留学、広報事業を実施します。また、里親を再募集するとともに「島っこ寮」の整備を推進します。
	指　　標 （数値目標）	【達成目標】（総合基本計画掲載数値） ＜中期目標＞ 平成３２年度末までの留学生累計　　１５名 ＜最終目標＞ 平成３７年度末までの留学生累計　　３０名 【 今 年 度 】 ○留学生招致　３名以上（小学生若しくは中学生） ➔体験留学（５組１０名程度）を実施します。 ➔専用ＨＰ・ＳＮＳに重点をおいた広報事業を実施します。 ➔福岡での事業説明会を１日実施します。 ➔島っこ寮をモデル的に１棟整備する準備を行います。
	達成時期	平成３７年３月

スケジュール

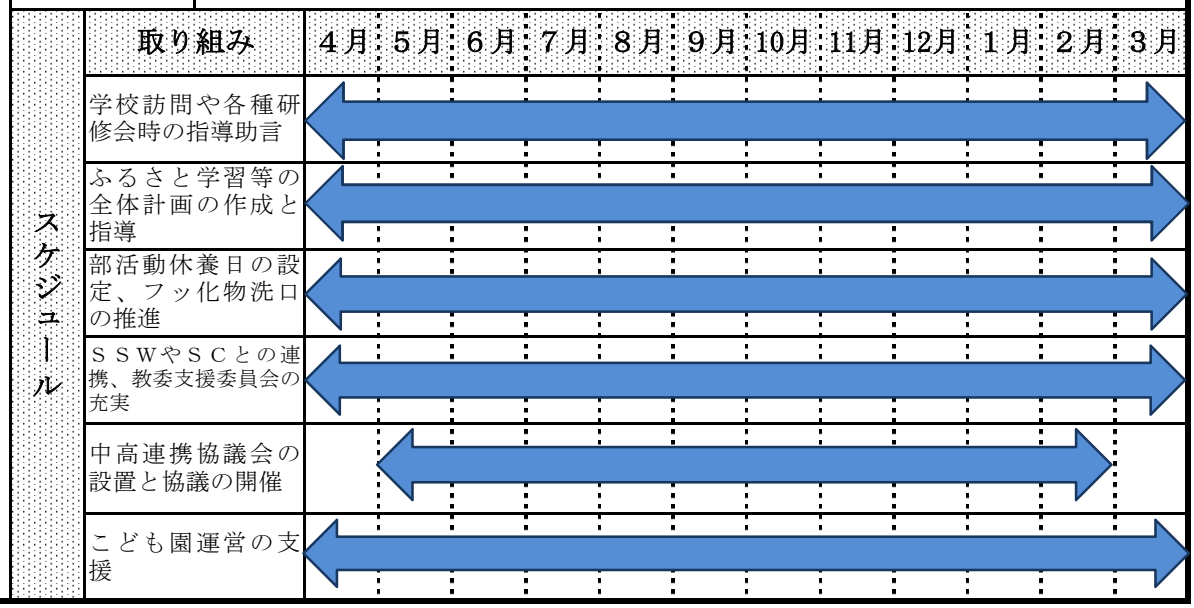
取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
島っこ留学推進協議会開催		●第１回				●第２回					●第３回	
体験留学実施					●８月９日の登校日に合わせて実施							
広報・募集活動			←							→		
福岡事業説明会									●			
留学生確定											●	

全体	48
個別	13-02

平成３０年度［教育委員会事務局］ 組織目標

課　名	学　校　教　育　課

No.	総合計画の区分	挑　戦	ひとづくり
		最優先課題	①子どもを大切に育てる ②若者が暮らせる環境づくり
	項　　目	ふるさと対馬を愛し、豊かな心と確かな学力を身に付けた子どもの育成	
	内　　容	［対馬の未来を担う人材育成のための教育の推進］ １．確かな学力を身に付けた児童生徒の育成 ２．心豊かでたくましく、郷土を愛する児童生徒の育成 ３．生徒指導及び特別支援教育の充実 ４．校種間連携、地域との連携の推進 ５．幼稚園・こども園教育の充実	
		１．確かな学力を身に付けた児童生徒の育成 (1)学校訪問時及び各種研修会における指導助言…各年間１０回以上 (2)ＩＣＴを活用した授業支援、研修会の実施…各年間５回以上 ２．心豊かでたくましく、郷土を愛する児童生徒の育成 (1)ふるさと学習及び総合的な学習の時間の全体計画作成…全校 (2)部活動休養日の設定…Ｈ３０年度週１回、Ｈ３１年度週２回 (3)フッ化物洗口推進事業…Ｈ３２年度に中学校３年まで完全実施 ３．生徒指導及び特別支援教育の充実 (1)ＳＳＷ及びＳＣとの連携と効果的活用…情報交換年間３回以上 (2)教育支援委員会の充実…年間２回開催、日頃の各学校との連携強化 ４．校種間連携、地域との連携の推進 (1)中学校と高等学校の連携強化…中高連携協議会の設置と協議の開催 ５．幼稚園・こども園教育の充実 (1)特色ある園づくり…比田勝こども園研究発表、各園を２回以上訪問	
	達成時期	平成３１年３月	



全体	49
個別	13-03

平成３０年度［教育委員会事務局］ 組織目標

課　名	生　涯　学　習　課

No.	総合計画の区分	挑　戦	ふるさとづくり
		最優先課題	歴史・文化を未来に残す
	項　目	地域の特性を活かした生涯学習の推進	
	内　容	○ しまの魅力に出会う　日本の宝「しま」交流支援事業 長崎県内の離島（対馬、壱岐、五島）３地区で「しまの魅力に出会う交流支援事業」が開催されます。 本市では、7月24日～27日までの4日間、「対馬shima大作戦」と題して夏休みの思い出づくり事業を実施します。 「しま」の人々や参加者同士の交流を深めるとともにシーカヤックやツシマヤマネコ（自然）特有な文化、対馬の魅力を再認識し、実行委員会を中心として、しま全体をフィールドとした活動により、地域教育力の向上と島の活性化の支援を目指します。	
	指　標 （数値目標）	○ こどもコース（3泊4日） ○ 小学4年生～中学3年生コース　定員：島外40名、島内20名 ○ 大学生・高校生・教職員ボランティア　10名	
	達成時期	平成３０年７月	

スケジュール

取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
実行委員会の開催 関係団体との連携	実行委員会打合せ			関係機関との調整	反省							
募集受付 参加者決定			参加受付									
交流事業準備		取りまとめ・スタッフ打合せ										
交流事業				●								

全体	50
個別	13-04

平成３０年度［教育委員会事務局］ 組織目標

課　名	文　化　財　課

No.	総合計画の区分	挑　戦	ふるさとづくり
		最優先課題	歴史・文化を未来に残す
	項　目	文化財の保存・活用	
	内　容	①　指定文化財の保存整備を継続して実施します。 ②　「豆酘赤米行事周知事業」を実施します。	
	指　標（数値目標）	①　国指定史跡2箇所、県指定史跡1箇所の整備を継続して取り組みます。 ②　豆酘地区のみに伝わる伝統文化「赤米行事」への理解と支援が拡がり、将来に渡って継承されるよう、見学・学習ツアー等を行います。 ツアー実施時期：9月上旬～中旬の間の1日 参加者　目標25名	
	達成時期	平成３１年３月	

スケジュール

取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
指定文化財の保存整備			↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔
豆酘赤米行事周知事業				↔	↔	↔						